

つうじゅんようすい

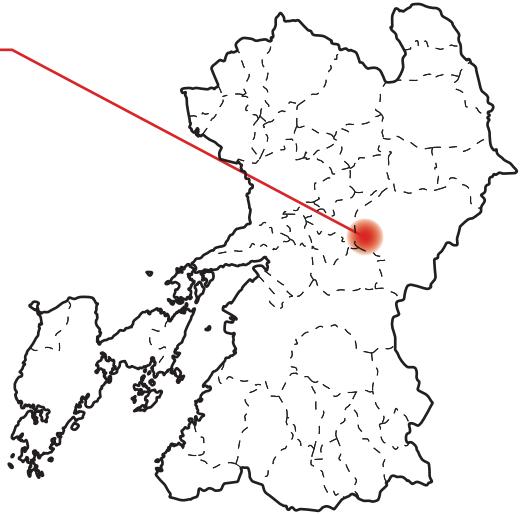
通潤用水

[熊本県・山都町]

- 四方を低地の河川に囲まれている地形条件にあり、水不足に悩まされていた白糸台地を灌漑するため、1855年に通潤用水が建設された。これにより水田面積が約3倍に増加。
- 日本最大の石造アーチ水路橋「通潤橋（国の重要文化財）」をはじめ、過剰取水防止の分水工、上下二段構造の水路による水の反復利用など、日本固有の技術の集大成。
- 水路の水不足時に行われる「昼夜引き（一昼夜毎に上流と下流の受益者がそれぞれ取水する）」などの公平な水配分の慣行に加え、環境や景観の面でも優れた整備。豪快な通潤橋の放水の様子は多くの観光客を魅了。

Tsujunyousui Irrigation System

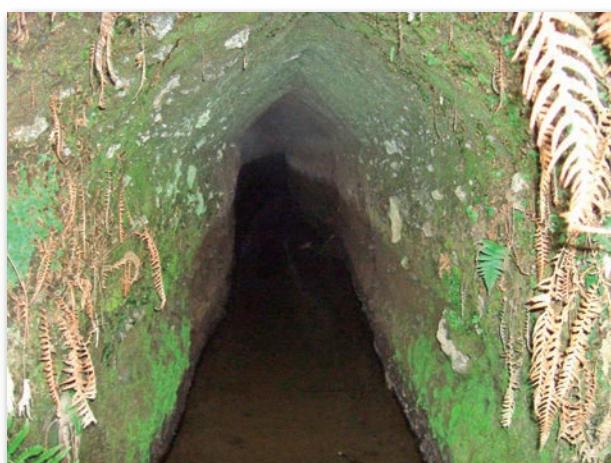
日本最大級の
石造アーチ水路橋により
台地を潤す



現在の通潤橋
(撮影：山都教育委員会)



当時の通潤橋
吹上樋の全容



水路トンネル内部



円形分水 (撮影：山都教育委員会)